

数学 数学Ⅲ 2年 普通科理型 1単位

目 標		数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。	
使用教科書		高等学校 数学Ⅲ 【数研出版】(104 数研 数Ⅱ/309)	
副 教 材		サクシード 数学Ⅲ 【数研出版】 チャート式 数学Ⅲ 【数研出版】	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10～ 4/17～		[関]:関心・意欲・態度 [見]:数学的な見方や考え方 [技]:数学的な技能 [知]:知識・理解
5月	4/24～ 5/1～ 5/8～ 中間考査		
	5/22～ 5/29～		
6月	6/5～ 6/12～ 6/19～		
	6/26～		
	7月 期末考査		
8月	7/10～ 7/18～		
	8/25～ 8/28～		
9月	9/4～ 9/11～		
	9/19～ 9/25～		
10月	中間考査		
11月	10/10～ 10/16～ 10/23～ 10/30～		
	11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～		
	12月 期末考査		
	12/7～		
	12/11～		
1月	12/18～ 1/9～ 1/15～ 1/22～	第1章 複素数平面	◎複素数平面の定義を理解している。[知] ◎極形式の有用性を理解し、乗法と除法の図形的意味を理解し、活用することができる。[技][知] ◎ド・モアブルの定理を利用して、複素数の n 乗を計算することができる。[知] ◎複素数平面上の図形に現れる角や辺の長さの比が複素数を用いて考察できる [見][知]
	2月	1/29～ 2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～	第2章 式と曲線 第1節 2次曲線
3月	2/26～ 学年末考査	第2節 媒介変数表示と極座標	◎いろいろな曲線を媒介変数表示で表すことができる。[知][技] ◎直交座標と極座標を理解できる。[知][技]
	3/12～ 3/19～		◎直交座標で表された方程式を極方程式で表すことができる。[見][技][知]
言語活動の充実のための学習活動		日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 発表を中心として、言語活動を充実させる。	
評価方法		各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

数学 数学B 2年 普通科 3単位

目 標		数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。	
使用教科書		高等学校 数学B【数研出版】(104 数研 数B/310)	
副 教 材		サクシード 数学Ⅱ+B【数研出版】 チャート式 数学Ⅱ+B【数研出版】	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10～	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	[関]:関心・意欲・態度 [見]:数学的な見方や考え方 [技]:数学的な技能 [知]:知識・理解 ◎ベクトルの基本的な概念や加法、減法、実数倍の計算の仕組みを理解している。
	4/17～		
5月	4/24～	第2節 ベクトルと平面図形	[知] ◎ベクトルの内積のもつ図形的な意味を探ろうとする。[関] ◎ベクトルの内積を求めることができ、実数であることを理解している。[知][技] [見]
	5/1～		
6月	5/8～	第2章 空間のベクトル	◎図形上の頂点に関する位置ベクトルを定めて図形を考察できる。[技] ◎位置ベクトルを使って図形を考察できる。[見] ◎直線や円のベクトル方程式を理解している。[知]
	5/22～		
7月	5/29～	第3章 数列	◎空間における図形を図や座標を利用して示すことができる。[技] ◎空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張としてとらえることができる。[見] ◎成分表示されたベクトルについて内積を計算できる。[知] ◎内積を利用して、空間図形の性質を証明できる。[知]
	6/5～		
8月	6/12～	第1節 等差数列と等比数列	◎数列の定義、表記、用語、記号について理解し、適切に用いることができる。[知] [技] ◎数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。[見][関] ◎等差数列の一般項とその和を求めることができる。[技][知] ◎等比数列の一般項とその和を求めることができる。[技][知]
	6/19～		
9月	6/26～	第2節 いろいろな数列	◎記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められる。[技][知] ◎数列の和を記号Σで表して、和の計算を簡単に行うことができる。[見] ◎数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。[見] ◎群数列に興味をもち、考察しようとする。[関]
	7/10～		
10月	7/18～	第3節 数学的帰納法	◎初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。[見] ◎おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。[関] ◎おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。[技] ◎初項と漸化式から数列の一般項が求められる。[知] ◎数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。[関]
	8/25～		
11月	9/4～	〈数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの問題演習〉	
	9/11～		
12月	9/19～		
	9/25～		
1月	10/10～		
	10/16～		
2月	10/23～		
	10/30～		
3月	11/6～		
	11/13～		
3月	11/20～		
	11/27～		
言語活動の充実のための学習活動		日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。発表を中心として、言語活動を充実させる。	
評価方法		各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

理科 物理 2年 普通科理型 3単位

目 標		様々な運動、波、電気に関する基本的な見方や考え方にに基づき、観察・実験などを通して原理・法則を系統的に理解させる。また、さまざまな現象に応用して考察できるようにする。	
使用教科書		数研出版 物理	
副 教 材		数研出版 改訂版 リードα 物理、数研出版 改訂版 フォトサイエンス物理図録	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10～	平面内の運動 ・落体の運動	○水平投射・斜方投射について理解し、式を立てて説明できる。〔思・知〕 ○力のモーメントについて理解し、力のモーメントのつりあいの式を立てることができる。〔知・技〕
	4/17～		
5月	4/24～	剛体 ・剛体にはたらく力のつりあい ・重心	○運動量と力積の関係について理解できている。〔知〕 ○運動量保存について理解し、活用できる。〔思〕
	5/1～		
	5/8～ 中間考査		
6月	5/22～	運動量の保存 ・運動量と力積 ・運動量保存則	○運動量と力積の関係について理解できている。〔知〕 ○運動量保存について理解し、活用できる。〔思〕
	5/29～		
	6/5～		
	6/12～		
	6/19～ 6/26～ 期末考査		
7月	7/10～	円運動と万有引力 ・等速円運動	○速度・角速度・回転数・周期の間に一定の関係があること、向心力が必要なことを理解している。〔思・知〕 ○慣性力を理解し、慣性系、非慣性系それぞれの立場で運動を記述することができる。〔思・知・技〕 ○単振動を理解し、周期や振幅など波動との関連性があることについても理解できている。〔思・知〕
	7/18～		
	8/25～		
8月	8/28～	・慣性力	○単振動を理解し、周期や振幅など波動との関連性があることについても理解できている。〔思・知〕
	9/4～		
9月	9/11～	・単振動	○単振動を理解し、周期や振幅など波動との関連性があることについても理解できている。〔思・知〕
	9/19～		
	9/25～ 中間考査		
10月	10/10～	・万有引力	○万有引力を受けて運動する物体について力学的エネルギー保存則を用いて考察を行うことができる。〔思・知〕
	10/16～		
11月	10/23～	波 ・波の伝わり方 ・音の伝わり方 ・ドップラー効果	○波を表す基本的な量について理解している。また、観察・実験を通して、干渉・反射・屈折・回折の現象を説明できる。〔思・知〕 ○波源と観測者が相対的に運動するとき、観測者が聞く振動数の変化について理解している。〔思・知〕
	10/30～		
	11/6～		
	11/13～		
	11/20～ 11/27～ 期末考査		
12月	12/7～	・光の性質 ・光の干渉と回折	○光の速さ、反射や屈折、レンズの幾何学的な性質について理解している。〔知〕 ○光の回折や干渉、スペクトルなどについて理解している。〔思・知〕
	12/11～		
	12/18～		
1月	1/9～	電場 ・静電気力 ・電場 ・電位 ・物質と電場	○クーロンの法則を使い、静電気力を計算できる。〔思〕 ○電場・電位について説明できる。〔思・知〕 ○電場中における物質内の電場や電位がどのようになっているのか理解し、グラフで表現することができる。〔思・知〕
	1/15～		
	1/22～		
	1/29～		
2月	2/5～	・物質と電場	○電場中における物質内の電場や電位がどのようになっているのか理解し、グラフで表現することができる。〔思・知〕
	2/13～		
	2/19～		
	2/26～ 学年末考査		
3月	3/12～	・コンデンサー	○コンデンサーについて理解している。〔思・知〕
	3/19～		
言語活動の充実のための学習活動		現象について、自分の考えを発表する。観察・実験の結果を予想したり、結果を分析して考察を自分の考えで表現する。また、表・グラフ・式・モデルなどを用いて、適切に自分の考えを表現する。	
評価方法		授業に対する取り組みや各定期考査・課題テスト・小テストにおける成績、実験レポートの結果・ノート提出を総合して評価する。	

理科 化学基礎 2年 普通科 文型・英語コース 2単位

目 標		物質についての基本的な粒子概念、原理、法則を、身近な物質や実験を通して理解し、生活に関連した科学的自然観や思考力を育成する。	
使用教科書		数研出版 化学基礎	
副 教 材		第一学習社 標準セミナー 化学基礎 実教出版 サイエンスビュー化学総合資料	
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準	
4月	4/11~ 4/17~ 4/24~ ○ 物質の構成 物質の種類と性質、同素体、状態変化	・ 物質の分離精製について理解している。[理解・技能]	
5月	5/1~ 5/8~ 中間考査 ○ 物質の構成粒子 原子の構造、同位体 電子殻と電子配置、 元素の周期表	・ 基本的な実験操作を習得している。 [技能] ・ すべての物質の基本粒子である原子の電子配置、価電子および希ガスの電子配置を理解している。 [知識・理解]	
6月	5/22~ 5/29~ 6/5 6/12~ 6/19~ 6/26~ ○ 粒子の結合 イオン結合とイオン結晶 分子と共有結合 分子の極性と分子間力 共有結合の物質 金属結合と金属結晶	・ イオン結合、共有結合、金属結合の違いを理解している。 ・ イオン式、組成式、構造式等の使い分けができる。[判断] ・ 原子間の結合、分子間の結合について理解している。 [知識・理解]	
7月	期末考査		
8月	7/10~ 7/18~ 8/25~ 8/28~ ○ 物質と化学反応式 原子量・分子量・式量 物質	・ 化学式を使用できるとともに、原子量、分子量、式量と物質量の知識を身につけている。 [思考・判断・表現]	
9月	9/4~ 9/11~ 9/19~ ○ 物質と化学反応式 溶液の濃度	・ モル濃度の特徴と定義を理解し、濃度の計算ができる。 [知識・理解]	
10月	9/25~ 中間考査 ○ 物質と化学反応式 化学反応式	・ 化学反応式をつくり、利用できる。 [知識・理解]	
11月	10/10~ 10/16~ 10/23~ 10/30~ 11/6~ 11/13~ 11/20~ 11/27~ 期末考査 化学反応式と量的関係 ○ 酸と塩基 酸・塩基 水の電離と水溶液のpH	・ 物質量の概念を用いて化学変化の量的関係を理解している [知識・理解] ・ アルコール・ブレンステッドの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えられる。 [関心・意欲・態度]	
12月	12/4~ 12/11~ 12/18~ 中和反応 塩	・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [知識・理解]	
1月	1/9~ 1/15~ 1/22~ 実験「中和滴定」		
2月	1/29~ 2/5~ 2/13~ 2/19~ 2/26~ ○ 酸化還元反応 酸化と還元 酸化数 酸化剤と還元剤 実験「酸化還元反応」	・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を理解している。 [知識・理解] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。[知識・理解]	
3月	3/12~ 3/19~ 金属のイオン化傾向 電池	・ イオン化傾向と反応性を理解している。[知識・理解] ・ 電池の仕組みを理解できている。[知識・理解]	
言語活動の充実のための学習活動		図表やモデルなどを用いて、適切に自分の考えを表現する。 また、身近な現象や実験結果について、自分の考えを発表する。	
評価方法		定期考査・小テストにおける成績、実験レポート・課題提出等を総合して評価する。	

理科 化学基礎 2年 普通科 理型 2単位

目 標		物質についての基本的な粒子概念、原理、法則を、身近な物質や実験を通して理解し、生活に関連した科学的自然観や思考力を育成する。	
使用教科書		数研出版 化学基礎	
副 教 材		第一学習社 セミナー化学基礎+化学 実教出版 サイエンスビュー化学総合資料	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/8~	○ 物質の構成 物質の種類と性質、同素体、原子の構造、同位体 電子配置、元素の周期表	・ 物質の基本粒子である原子の電子配置、価電子および希ガスの電子配置を理解している。 [知識・理解] ・ 物質の分離精製について理解している。 [技能]
	4/11~		
5月	4/18~	○ 物質と化学結合 イオン結合、分子と共有結合、分子の極性 金属結合、結晶の種類	・ イオン式、組成式、構造式等の使い分けができる。 [判断] ・ 原子間の結合、分子間の結合について理解している。 [知識・理解]
	4/25~		
6月	5/2~	○ 物質と化学反応式 原子量、分子量と式量、物質 化学反応式、量的関係、溶液の濃度	・ 化学式を使用できるとともに、原子量、分子量、式量と物質量の知識を身につけている。 [思考・判断・表現] ・ 物質量の概念を用いて化学変化の量的関係を理解している。 ・ モル濃度の特徴と定義を理解し、濃度の計算ができる。 [知識・理解]
	5/9~		
7月	5/23~	○ 酸と塩基 酸と塩基、 水素イオン濃度とpH 中和反応と量的関係、 塩の性質 実験「中和滴定」	・ アレキサンダー・ブレンステッドの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断]
	5/30~		
8月	6/6~	○ 酸化還元反応 酸化と還元、酸化数 酸化剤と還元剤の働き 量的関係 金属のイオン化傾向 実験「酸化還元反応」	・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解] ・ イオン化傾向から化学電池の原理を考えさせる。 [関心・意欲・態度]
	6/13~		
9月	6/20~	中間考査	
	6/27~		
10月	7/11~	11/7~	
	7/19~		
11月	8/25~	11/14~	
	8/29~		
12月	9/5~	11/22~	
	9/12~		
1月	9/20~	11/28~	
	9/26~		
2月	10/11~	12/7~	
	10/17~		
3月	10/24~	12/12~	
	10/31~		
3月	11/7~	12/19~	
	11/14~		
3月	11/22~	1/10~	
	11/28~		
3月	12/7~	1/16~	
	12/12~		
3月	12/19~	1/23~	
	1/10~		
3月	1/16~	1/30~	
	1/23~		
3月	1/30~	2/6~	
	2/6~		
3月	2/6~	2/13~	
	2/13~		
3月	2/13~	2/20~	
	2/20~		
3月	2/20~	2/27~	
	2/27~		
3月	2/27~	3/13~	
	3/13~		
3月	3/13~	3/21~	
	3/21~		
言語活動の充実のための学習活動		図表やモデルなどを用いて、適切に自分の考えを表現する。 また、身近な現象や実験結果について、自分の考えを発表する。	
評価方法		定期考査・小テストにおける成績、実験レポート・課題提出等を総合して評価する。	

理科 化学 2年 普通科 理型 2単位

目 標		物質についての基本的な粒子概念、原理、法則を、身近な物質や実験を通して理解し、生活に関連した科学的自然観や思考力を育成する。	
使用教科書		数研出版 化学	
副 教 材		第一学習社 セミナー化学基礎+化学 実教出版 サイエンスビュー化学総合資料	
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準	
4月 4/8~ 4/11~ 4/18~ 4/25~	後期に週4時間で開講する		
5月 5/2~ 5/9~ 中間考査			
6月 5/23~ 5/30~ 6/6~ 6/13~ 6/20~ 6/27~ 期末考査			
7月 7/11~ 7/19~ 8/25~			
8月 8/29~ 9/5~			
9月 9/12~ 9/20~ 9/26~ 中間考査			
10月 10/11~ 10/17~ 10/24~	○物質の三態と状態変化 粒子の熱運動と三態変化、蒸気圧 ○気体	・現象を粒子の運動の観点から捉え、蒸気圧曲線から物質の状態を読み取ることができる。【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】 【知識・理解】	
11月 10/31~ 11/7~ 11/14~ 11/22~ 11/28~ 期末考査	ボイル・シャルルの法則 気体の状態方程式 混合気体の圧力、実在気体 ○溶液 溶解の仕組みと溶解度 希薄溶液の性質 コロイド溶液	・気体の状態方程式を用いて計算ができ、分圧の法則を理解している。【思考・判断・表現】【技能】【知識・理解】 ・濃度の表し方を理解し、溶解度の計算ができる。 【技能】【知識・理解】 ・希薄溶液の性質や、コロイド溶液に関する知識が身に付いている。【関心・意欲・態度】【知識・理解】	
12月 12/7~ 12/12~ 12/19~	○化学反応とエネルギー 反応熱と熱化学方程式 実験「ヘスの法則」	・熱化学方程式の意味を理解し、ヘスの法則を用いて新たな化学変化の反応熱を求められる。 [知識・理解] ・化学反応に伴う熱の出入りを実験で確認できる。 [技能]	
1月 1/10~ 1/16~ 1/23~	○電池と電気分解 金属のイオン化傾向 電池の原理とダニエル電池 鉛蓄電池	・身近に多様な電池があることに気づく。[関心・意欲・態度] ・イオン化傾向から化学電池の説明ができる。 [表現]	
2月 1/30~ 2/6~ 2/13~ 2/20~ 2/27~	実験「電池」 電気分解・ファラデーの法則	・ファラデーの法則を理解し、量的関係を扱うことができる。 [知識・理解]	
3月 学年末考査 3/13~ 3/21~	○化学反応の速さとしくみと化学平衡 可逆反応と化学平衡、平衡状態の変化 電解質水溶液の化学平衡化学反応の速さ	・反応速度と濃度、温度、触媒の関係を理解している。【知・理】 ・化学平衡の概念が身に付いている。【知識・理解】 ・電離平衡を理解し、電離定数や水素イオン濃度、pHを求めることができる。【思考・判断・表現】【技能】	
言語活動の充実のための学習活動	図表やモデルなどを用いて、適切に自分の考えを表現する。 また、身近な現象や実験結果について、自分の考えを発表する。		
評価方法	定期考査・小テストにおける成績、実験レポート・課題提出等を総合して評価する。		

理科・生物 2年普通科・理型 3単位

目 標		近年の生物学に関する知識を身につけると共に、科学的・論理的な思考力を養う。また、実験を通して自分で操作すること、提出物をきちんとだすことなどを習慣づける。		
使用教科書		第一学習社「高等学校 生物」		
副 教 材		第一学習社「四訂版 スクエア最新図説生物neo」 第一学習社「2017 セミナー 生物基礎＋生物」		
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準	
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～	導入教材 生命の起源 第1編 生命現象と物質 第1章 細胞と分子	<ul style="list-style-type: none"> ○生命の起源の探究学習を通じて科学的なものの考え方を理解する。(関・思・知) ○元素から細胞という構造上の階層性を持って生物を理解する。(関・思・知) ○アミノ酸の基本構造、タンパク質の分子構造、性質を理解する。(関・思・知) ○酵素の特性、機能の調節機構について理解する。(関・思・技・知) ○原核・真核細胞の違いと、真核細胞の構造について理解する。(関・思・知) ○細胞内における構造を維持するタンパク質の働きを理解する。(関・思・知) 	
5月	5/1～ 5/8～ 中間考査	1. 生体物質と細胞 2. 細胞膜を介した物質の移動 3. 生命現象とタンパク質		
6月	5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～	第2章 代謝 1. 代謝とエネルギー代謝 2. 同化 3. 窒素同化 4. 異化		
7月	期末考査			
8月	7/10～ 7/18～	第3章 遺伝情報の確認 1. 遺伝情報とその発現 2. 遺伝子の発現調節 3. バイオテクノロジー		
9月	8/25～ 8/28～ 9/4～ 9/11～ 9/19～ 9/25～			
10月	中間考査			
11月	10/10～ 10/16～ 10/23～ 10/30～ 11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～ 期末考査			
12月	12/7～ 12/11～ 12/18～	第2編 生殖と発生 第4章 有性生殖 1. 減数分裂と受精 2. 遺伝子と染色体		<ul style="list-style-type: none"> ○DNAの構造や複製のしくみ、岡崎フラグメントを理解する。(関・思・知) ○遺伝子が発現するときの経路とゲノムの多様性を理解する。(関・思・知) ○DNAの分子模型を製作することで、DNAの構造と遺伝子発現の過程を理解する。(関・思・技・知) ○遺伝子発現が転写レベルで行われていることを理解する。(関・思・知) ○遺伝子を用いたバイオテクノロジーの原理を理解する。(関・思・知)
1月	1/9～ 1/15～ 1/22～	第5章 動物の発生 1. 配偶子形成と受精 2. 初期発生の過程 3. 細胞の分化と形態形成 4. 器官形成と細胞の死		
2月	1/29～ 2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～ 学年末考査	第6章 植物の発生 1. 配偶子形成と胚発生		
3月	3/12～ 3/19～	生物1年間の復習		
言語活動の充実のための学習活動		授業中や実験時に結果を予想したり、結果を分析して考察を自分の考えで表現するために発表をする。また、表・グラフ・式などを用いて、適切に自分の考えを表現する。		
評価方法		各定期考査・課題テスト・小テストにおける成績や取り組み、実験レポートの結果・ノート提出を総合して評価する。		

理科 地学基礎 対象学年・科・型・コース 2年普通科普通類型・英語コース (単位数)2単位

目 標		自然界における様々な事象の因果関係を正しく理解させながら、地球と宇宙の全体像、およびその歴史を把握させ、自然を総合的に見る視点を養う。また、人間と自然の関わりについて幅広く考察することができる能力をつけさせる。	
使用教科書		地学基礎(実教出版)	
副 教 材		フォトサイエンス地学図表(数研出版)、ベストフィット地学基礎(実教出版)	
時 期			
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～ 5/1～	第1章 1. 地球の形と大きさ 実習. 地球の大きさ 2. 地球内部の構成 実習. 岩石と鉱物の鑑定、鉱物の性質	地形図や GPS を用いて地球の大きさを測定できる【思考・技能】 地球の形、大きさ、構造について理解できる【知識】 火成岩の特徴を調べ、理解できる【思考・知識】 堆積岩の特徴とでき方を理解する【思考・知識】 岩石と鉱物の鑑定 変成岩の特徴とでき方を理解する【思考・知識】 実習【技能】 偏光顕微鏡でケイ酸塩鉱物の特徴を調べ、理解できる【技能・知識】
5月	5/8～ 中間考査		
6月	5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～ 期末考査	3. プレートの運動 大地形の形成 4. 火山と地震 実習. 火成岩の特徴を調べる 実習. 火成岩の造岩鉱物の性質を調べる 実習. 地震災害、震源を求める、変成岩 実習. いろいろな地形の観察	プレートの運動、地殻変動(火山活動、地震、造山運動)の起こるメカニズムについて理解できる【思考・知識】 マグマの性質の違いにより火山活動が異なることを理解する↓ 地震波の特徴について理解し、震源の位置や方向を求める 地震災害の起こる原因について調べ、理解する【思考・技能・知識】
7月	7/10～ 7/18～ 8/25～	第2章 1. 地層と化石 実習. 化石の観察 実習. 地層の重なり方と地層中の構造	様々な化石の特徴をつかみ、環境を推定できる【思考】【技能・知識】 流水の働きと地形について理解する【知識】 地層中の堆積構造から堆積環境を推定する。また、地層の重なりから地層の新旧などを考察する【技能・思考・知識】 地球環境の変遷・生物の進化を年表にまとめ、理解できる【技能】
8月	8/28～ 9/4～	2. 古生物の変遷と地球環境	
9月	9/11～ 9/19～ 9/25～ 中間考査		太陽系の天体の形成過程と惑星や衛星の特徴の関係を理解する↓ 流星塵の観察を通して顕微鏡の使い方を理解する【技能】 【知識】 天体望遠鏡を使い、太陽表面の観察ができる。【技能】 ↓【知識】
10月	10/10～ 10/16～ 10/23～	第4章 1. 太陽系の中の地球 実習. 流星の観察、惑星の観察 2. 太陽とその進化 実習. 太陽観測、太陽の光の観察 実習. 太陽エネルギー量の測定 実習. HR図・恒星の進化	簡易日射計を用いて太陽放射エネルギー量を測定できると共に、太陽定数との違いについて考察できる。【技能、思考】太陽の構造や活動の特徴を理解するとともに、地球への影響を知る 太陽のスペクトル観察から、太陽の大気組成や表面温度を推定する 【技能・思考】
11月	11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～ 期末考査	3. 宇宙のすがた 実習. 宇宙の膨張モデル	HR図を作成し、恒星をグループ分けできる【思考・知識】 太陽やいろいろな恒星の進化の過程を理解できる【知識】 銀河系の構造、宇宙の構造を理解する。また、銀河の後退から宇宙の膨張を理解するとともに、宇宙の歴史(宇宙の誕生～現在～未来)について理解する【知識】 ↓【技能、思考、知識】
12月	12/7～ 12/11～ 12/18～	第3章 1. 大気の構造と運動 実習. 大気圧の大きさを調べる 2. 大気の大循環 ①大気の運動 ②日本の四季の気圧配置と天気の特徴	大気圏の構造と各圏の特徴、大気圧の大きさについて理解する 地球の熱収支の量的関係を理解する【知識・思考】 大気の運動(風)の起こるメカニズムを理解する。【思考、知識】 大気の大循環と各地方の気候の関係を理解する【 " 】
1月	1/15～ 1/22～ 1/29～	3. 海洋の構造と海水の循環 ①海水の構造 ②海水の運動 実習. 海水の運動と構造を調べる	四季の気圧配置を理解し、風や天気の特徴を考察できる【 " 】 季節による海水の構造の違う原因を理解する【技能、思考、知識】 世界の海流や鉛直循環の特徴を知り、その原因を考察できる↓ 【思考、知識】
2月	2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～ 学年末考査	第5章 1. 日本の自然環境	身近な自然災害について、その原因を理解し、対策について考察できる【知識、思考】
3月	3/12～ 3/19～	2. 地球環境の科学 実習. 酸性雨の測定	身近な環境問題の現状について理解し、今後の対策について考察することができる。【知識、思考】
言語活動の充実のための学習活動		上記のような実習(観察)を含め、大小年間で20回ほどの実習を行い、その際にレポートなどを提出させる。	
評価方法		各定期考査の成績、小テストの成績、実習レポートの成績などを総合して評価する。(【意欲・関心・態度】については、毎時間の授業、およびテストなどで評価する。【技能】については、実験や実習がきちんとできるか、レポートはかけるかなどを評価する。【思考・知識・理解】については、平常の授業やテストなどで学習したことが理解できているかを確認する。)	

体育 2年男子 2単位

目 標		各種の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。	
使用教科書		現代保健体育・体育編(大修館書店)	
副 教 材			
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準	
4月	4/10 4/13	体育理論(運動・スポーツの学び方)	<p>関: 合理的な動きを理解し、練習の具体的な方法を身につけ、必要な体力を高めるトレーニング方法に関心を持ち、生涯にわたってスポーツにかかわっていこうと進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>思: 合理的な動きを理解し、練習の具体的な方法を身につけ、必要な体力を高めるトレーニング方法を考え、生涯スポーツへの関わり方について自分の考えを整理している。</p> <p>知: 合理的な動きを理解し、練習の具体的な方法を身につけ、必要な体力を高めるトレーニング方法、生涯にわたってスポーツとどのように関わっていけばよいかについて具体例を挙げている。</p>
	4/17 ~ 4/28	体づくり運動(体力を高める運動)	<p>関: 自らが進んで体力を高めようとする。</p> <p>思: 体力を高める運動の中から、自分の体力や生活の実状を踏まえて、目的にあった運動を選び、構成し活用している。</p> <p>技: 体力を高める運動を身に付けたり、合理的に体力を高めたりすることができる。</p> <p>知: 体力を高める運動の意義と高め方を知っている。</p>
5月	5/1 ~ 5/19	陸上競技(走・投)	<p>関: 全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。</p> <p>思: 自分の能力に適した目標記録や課題を設定している。</p> <p>技: 自分の能力に適した技能のポイントをつかみ、技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。</p> <p>知: 学習の進め方及び自分の能力に適した課題の選び方、及びそれに合わせた練習や競技の仕方を理解し、知識を身に付けている。</p>
	5/24	体育理論(運動・スポーツの学び方)	上記体育理論に同じ
6月	5/26 ~	球技(バスケットボール)	<p>関: 作戦を立てたり、ルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。</p> <p>思: 今もっている自分(自分のチーム)や相手(相手チーム)の技能の程度などを的確に把握し、その技能の程度に応じて作戦を立ててゲームをしている。</p> <p>技: 今もっている技能を発揮してゲームを行うことができる。</p> <p>知: 種目の特性や学習の進め方、集団的な技術や個人的な技術の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を理解し、知識を身に付けている。</p>
	7月 7/14		
8月	8/25	体育理論(運動・スポーツの学び方)	上記体育理論に同じ
9月	8/28 9/22	球技(ソフトボール)	上記球技に同じ
	9/25 ~	武道(剣道)	<p>関: 自分の能力に応じた技を習得する喜びや相手に応じた攻防を展開し剣道の楽しさを味わおうとするとともに、礼儀作法を重視している。</p> <p>思: 得意技を身に付けるために課題をもっている。</p> <p>技: 身につけた得意技を練習や試合で使うことができる。</p> <p>知: 剣道の伝統的な考え方、特性、技の系統性、基本動作や対人技能の構造について知っている。</p>
11月	11/2 ~		
	11/6 12/21	球技(バドミントン)	上記球技に同じ
12月	1/11	体づくり運動	上記体づくり運動に同じ
	1/15 ~	器械運動(跳び箱・マット)	<p>関: 作技がよりよくなり、自分に適した新しい技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを味わおうとする。</p> <p>思: 自分の能力に適した技を選び、課題をもっている。</p> <p>技: ある程度できる技は、同じ技を繰り返したり、条件を変えたりしてできる。</p> <p>知: 器械運動の楽しみ方や学習の進め方、個々の技の技術構造、技の系統性や発展性を知っている。</p>
2月	2/26		
	3/12 3/22	体育理論(運動・スポーツの学び方)	上記体育理論に同じ
言語活動の充実のための学習活動		<p>・体を動かす活動を通して、コミュニケーションや感性・情緒に関する学習活動及び知的活動を充実する。</p> <p>・各運動場面で、体を動かす機会を適切に確保した上で、相手や仲間のよい演技に賞賛を送る、互いのよい演技を認め合う、互いに教え合うなどのコミュニケーションを図る学習活動を充実する。</p>	
評価方法		運動の技能、関心・意欲・態度や思考・判断及び知識・理解を総合して評価する。	

体育 2年女子 2単位

目 標		各種の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。	
使用教科書		現代保健体育・体育編(大修館書店)	
副 教 材			
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10 4/13	体育理論(運動・スポーツの学び方)	関: 合理的な動きを理解し、練習の具体的な方法を身につけ、必要な体力を高めるトレーニング方法に関心を持ち、生涯にわたってスポーツにかかわっていきよう進んで学習に取り組んでいる。 思: 合理的な動きを理解し、練習の具体的な方法を身につけ、必要な体力を高めるトレーニング方法を考え、生涯スポーツへの関わり方について自分の考えを整理している。 知: 合理的な動きを理解し、練習の具体的な方法を身につけ、必要な体力を高めるトレーニング方法、生涯にわたってスポーツとどのように関わっていけばよいかについて具体例を挙げている。
	4/17 ~ 4/28	体づくり運動(体力を高める運動)	関: 自らが進んで体力を高めようとする。 思: 体力を高める運動の中から、自分の体力や生活の実状を踏まえて、目的にあった運動を選び、構成し活用している 技: 体力を高める運動を身に付けたり、合理的に体力を高めたりすることができる。 知: 体力を高める運動の意義と高め方を知っている。
5月	5/1 ~ 5/19	陸上競技(走・投)	関: 全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。 思: 自分の能力に適した目標記録や課題を設定している。 技: 自分の能力に適した技能のポイントをつかみ、技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。 知: 学習の進め方及び自分の能力に適した課題の選び方、及びそれに合わせた練習や競技の仕方を理解し、知識を身に付けている。
	5/24	体育理論(運動・スポーツの学び方)	上記体育理論に同じ
6月	5/26 ~ 7月	球技(サッカー)	関: 作戦を立てたり、ルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。 思: 今もっている自分(自分のチーム)や相手(相手チーム)の技能の程度などを的確に把握し、その技能の程度に応じて作戦を立ててゲームをしている。 技: 今もっている技能を発揮してゲームを行うことができる。 知: 種目の特性や学習の進め方、集団的な技術や個人的な技術の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を理解し、知識を身に付けている。
8月	8/25	体育理論(運動・スポーツの学び方)	上記体育理論に同じ
9月	8/28	球技(バレーボール)	上記球技に同じ
10月	9/22		
11月	9/25 11/2	球技(バスケットボール)	上記球技に同じ
12月	11/6 12/21	球技(卓球)	上記球技に同じ
1月	1/11	体づくり運動	上記体づくり運動に同じ
	1/15	器械運動(マット・跳び箱)	関: 作技がよりよくできたり、自分に適した新しい技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 思: 自分の能力に適した技を選び、課題をもっている。 技: ある程度できる技は、同じ技を繰り返したり、条件を変えたりしてできる。 知: 器械運動の楽しみ方や学習の進め方、個々の技の技術構造、技の系統性や発展性を知っている。
2月	~ 2/26		
3月	3/12 3/22	体育理論(運動・スポーツの学び方)	上記体育理論に同じ
言語活動の充実のための学習活動		・体を動かす活動を通して、コミュニケーションや感性・情緒に関する学習活動及び知的活動を充実する。 ・各運動場面で、体を動かす機会を適切に確保した上で、相手や仲間とのよい演技に賞賛を送る、互いのよい演技を認め合う、互いに教え合うなどのコミュニケーションを図る学習活動を充実する。	
評価方法		運動の技能、関心・意欲・態度や思考・判断及び知識・理解を総合して評価する。	

保健 2 学年 1 単位

目 標		個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。	
使用教科書		現代高等保健体育(大修館書店)	
副 教 材		図説 現代高等保健体育(大修館書店)	
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準	
4月	4/10～ 4/17～	20 応急手当の意義とその基本	(応急手当) 心肺蘇生法等の応急手当の意義や正しい手順・方法について、 関:資料を見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
	4/24～ 5/1～	21 心肺蘇生法	思:学習した内容を基に課題を見付けたり、整理したりするなどし、それらを説明している。
5月	5/8～ 中間考査	22 日常的な応急手当	知:学習した内容を発言したり、記述したりしている。
	6月	5/15～ 5/22～	1 思春期と健康
5/29～ 6/5～		2 性意識と性行動の選択	思判 : 仲間との意見交換をもとに、課題の解決方法を考えたり、日常生活にあてはめたりして、選択すべき行動を判断している。
6/12～ 6/19～		3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康	知理 : 学習した内容を、言ったり書きたたりしている。
6/26～ 期末考査		5 家族計画と人工妊娠中絶	
7月		7/10～ 7/18～	6 加齢と健康
	9月	8/28～ 9/4～	7 高齢者のための社会的取り組み
10月		9/11～ 9/19～	8 保健制度とその活用
	10月	9/25～ 中間考査	9 医療制度とその活用
11月		10/10～ 10/16～	10 医薬品と健康 11 様々な保健活動や対策
	12月	10/23～ 10/30～	1 大気汚染と健康
1月		11/6～ 11/13～	2 水質汚濁・土壌汚染と健康
	1月	11/13～ 11/20～	3 健康被害の防止と環境対策
2月		1/9～ 1/15～	4 環境衛生活動のしくみと働き 5 食品衛生活動のしくみと働き
	2月	1/15～ 1/22～	6 食品と環境の保健と私たち
3月		1/29～ 2/5～	7 働くことと健康
	3月	2/13～ 2/19～	8 労働災害と健康 9 健康的な職業生活
3月		学年末考査 3/10～ 3/17～	
	言語活動の充実のための学習活動	・単元ごとの「学習の目標」に照らし合わせたテーマで、グループディスカッションや、ディベートを行う。 ・学習の成果をまとめ全体の場で発表する。 (単元の内容により実施方法は検討する)	
評価方法	・各学期1回の定期考査 ・ディスカッションや、ディベートへの取り組み姿勢 ・ノート		

コミュニケーション英語Ⅱ 2年生 普通科・英語コース(4単位)

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。 Reading:教科書の題材や社会で話題となっているような事柄に関する新聞記事などの英文を1分間に110語程度のスピードで読むことができる。 Listening:はっきりとした発音で話されている身近な話題に関する説明や物語を聴いて、概要や要点を把握することができる。 Writing:幅広い題材について、その概要や要点をある程度まとまりのある文章で的確に要約することができる。 Speaking:他の話し手の意見に同意したり反論したりして意見交換をすることができる。	
使用教科書	Genius English Communication II (大修館書店)	
副教材	Genius English Communication II 予習ノート、チャート式基礎からの新々総合英語、基礎からの新々総合英語 30 グランド英文法, JET READING2	
時期	学 習 内 容	
4月	4/10~ CEⅡの学び方について 4/17~ Lesson 1 Hanamizuki 4/24~ 日米交流や平和について考える It・使役動詞の用法 5/1~ Lesson 2 Learning Language, Learning Self	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。
5月	5/8~ 外国語学習、異文化理解の意義について理解する 中間考査	
6月	5/22~ Lesson 3 Nature Technology 5/29~ 自然から学ぶ科学技術及び環境問題を理解する 6/5~ 複合関係詞の用法を理解する 6/12~ Lesson 4 Ahmed's Gift of Life 6/19~ パレスチナ・イスラエル問題について知る 6/26~ 紛争解決について考え、積極的に自分の意見を述べる 期末考査	②外国語表現の能力 英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。 情報や考えなどについて、英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 情報や考えなどについて、英語で簡潔に書くことができる。
7月	7/10~ 仮定法を用いることができる 7/18~ Read On 4 An Israeli Girl Speaks Out 8/25~ Lesson 5 The World of Miyazawa Kenji is Our World	
8月	8/28~ 宮沢賢治の世界観を理解する 9/4~ 無生物主語、強調構文の用法を理解する	③外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 英語を聴いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。
9月	9/11~ Lesson 6 Machu Picchu: City in the Clouds 9/19~ 世界遺産マチュピチュの歴史と現在の姿を理解する 9/25~ 動名詞・不定詞の用法を理解する 中間考査	
10月	10/10~ Lesson 7 Paul Klee: A Musical Painter 10/16~ パウル・クレーの生涯を知る 10/23~ 関係代名詞 what の慣用表現・同格を理解する 10/30~ 調べたことをまとめ、聞き手に伝わるように発表する	④言語や文化についての知識・理解 英語のしくみ、使われている言葉の意味や働き等を理解するとともに、言語の背景にある文化を理解している。
11月	11/6~ Lesson 8 Emotions Gone Wild 11/13~ 動物と人間のコミュニケーションの可能性について考える 11/20~ There構文・関係代名詞を理解する 11/27~ Discussionにおいて自分の意見を伝えることができる 期末考査	
12月	12/7~ Lesson 9 Micael.J. Sandel on Kant: Freedom or Morality 12/11~ 自由に関するカントの思想を理解する 12/18~ 倒置・省略について理解する 1/9~ 自由とは何かという議論において、自らの意見を述べる	
1月	1/15~ Read On 9 The Upside-Down Circus 1/22~ 発想の転換と新しいものの創造について学ぶ	
2月	1/29~ Lesson 10 Donald Woods: Real Journalism Takes Courage 2/5~ アバルトヘイト政策に立ち向かったドナルド・ウッズを知る 2/13~ ジャーナリストの使命・仕事に対する責任について考える 2/19~ 調べたことを、聞き手に伝わるようにまとめて発表する 2/26~ Discussionにおいて自分の意見を伝えることができる 学年末考査	
3月	3/12~ Read On 10 The Freedom Writers Diary 3/19~ 暴力や人種差別への取り組みを考える	
言語活動の充実のための学習活動	ア 事物に関する紹介報告、対話や討論を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また聞き手に伝わるように音読や詠唱を行う。	
評価方法	a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査	

コミュニケーション英語Ⅱ 2年生 理数科(3単位)

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。 Reading:教科書の題材や社会で話題となっているような事柄に関する新聞記事などの英文を1分間に110語程度のスピードで読むことができる。 Listening:はっきりとした発音で話されている身近な話題に関する説明や物語を聴いて、概要や要点を把握することができる。 Writing:幅広い題材について、その概要や要点をある程度まとまりのある文章で的確に要約することができる。 Speaking:他の話し手の意見に同意したり反論したりして意見交換をすることができる。	
使用教科書	Genius English Communication II (大修館書店)	
副教材	Genius English Communication II 予習ノート、チャート式基礎からの新々総合英語、基礎からの新々総合英語 30 グランド英文法, JET READING2	
時期	学 習 内 容	
4月	4/10~ CEⅡの学び方について 4/17~ Lesson 1 Hanamizuki 4/24~ 日米交流や平和について考える It・使役動詞の用法 5/1~ Lesson 2 Learning Language, Learning Self	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。
5月	5/8~ 外国語学習、異文化理解の意義について理解する 中間考査	
6月	5/22~ Lesson 3 Nature Technology 5/29~ 自然から学ぶ科学技術及び環境問題を理解する 6/5~ 複合関係詞の用法を理解する 6/12~ Lesson 4 Ahmed's Gift of Life 6/19~ パレスチナ・イスラエル問題について知る 6/26~ 紛争解決について考え、積極的に自分の意見を述べる 期末考査	②外国語表現の能力 英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。 情報や考えなどについて、英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 情報や考えなどについて、英語で簡潔に書くことができる。
7月	7/10~ 仮定法を用いることができる 7/18~ Read On 4 An Israeli Girl Speaks Out 8/25~ Lesson 5 The World of Miyazawa Kenji is Our World	
8月	8/28~ 宮沢賢治の世界観を理解する 9/4~ 無生物主語、強調構文の用法を理解する	③外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 英語を聴いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。
9月	9/11~ Lesson 6 Machu Picchu: City in the Clouds 9/19~ 世界遺産マチュピチュの歴史と現在の姿を理解する 9/25~ 動名詞・不定詞の用法を理解する 中間考査	
10月	10/10~ Lesson 7 Paul Klee: A Musical Painter 10/16~ パウル・クレーの生涯を知る 10/23~ 関係代名詞 what の慣用表現・同格を理解する 10/30~ 調べたことをまとめ、聞き手に伝わるように発表する	④言語や文化についての知識・理解 英語のしくみ、使われている言葉の意味や働き等を理解するとともに、言語の背景にある文化を理解している。
11月	11/6~ Lesson 8 Emotions Gone Wild 11/13~ 動物と人間のコミュニケーションの可能性について考える 11/20~ There構文・関係代名詞を理解する 11/27~ Discussionにおいて自分の意見を伝えることができる 期末考査	
12月	12/7~ Lesson 9 Micael.J. Sandel on Kant: Freedom or Morality 12/11~ 自由に関するカントの思想を理解する 12/18~ 倒置・省略について理解する 1/9~ 自由とは何かという議論において、自らの意見を述べる	
1月	1/15~ Read On 9 The Upside-Down Circus 1/22~ 発想の転換と新しいものの創造について学ぶ	
2月	1/29~ Lesson 10 Donald Woods: Real Journalism Takes Courage 2/5~ アバウト・ヘイト政策に立ち向かったドナルド・ウッズを知る 2/13~ ジャーナリストの使命・仕事に対する責任について考える 2/19~ 調べたことを、聞き手に伝わるようにまとめて発表する 2/26~ Discussionにおいて自分の意見を伝えることができる 学年末考査	
3月	3/12~ Read On 10 The Freedom Writers Diary 3/19~ 暴力や人種差別への取り組みを考える	
言語活動の充実のための学習活動	ア 事物に関する紹介報告、対話や討論を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また聞き手に伝わるように音読や詠唱を行う。	
評価方法	a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査	

目 標		構文や文法・語法の理解を深めるとともに習熟した知識を使って、日常生活の基本的な事柄について英語で自己表現できることを目指す。更にパラグラフライティング等についての理解を深め最終的にまとまった英語の文章が筋道立てて書けることを目指す。	
使用教科書		POLESTAR English Expression II	
副 教 材		・チャート式基礎からの新々総合英語 ・リスニング問題集	
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準	
4月	4/11～ PART 1 Lesson 1 時制を使い分ける 4/17～ Lesson 2 助動詞を使い分ける 4/24～ Lesson 3 能動態と受動態を使い分ける 4/25～ Lesson 4 分詞を使い分ける	それぞれの学習内容に対して次の観点で評価する ①関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで、自己を表現したり、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力しているか。 ②表現の能力 さまざまな話題やテーマについて、情報や考えなど、相手に伝えようとする内容を、英語で話したり書いたりして、適切に表現することができるか。 ③理解の能力 表現の基礎となる文法事項を理解し、さまざまな話題やテーマについて、英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを理解することができるか。 ④言語や文化についての知識・理解 英語の学習を通して、言語や文化についての知識を身につけ、さまざまなテーマについての理解を深めることができるか。	
5月	5/1～ Lesson 5 比較表現を使い分ける 5/8～ 中間考査		
6月	5/22～ Lesson 6 関係詞を使い分ける 5/29～ Lesson 7 仮定法と直説法を使い分ける 6/5～ Lesson 8 接続語句を使い分ける 6/12～ Lesson 9 代用表現を使い分ける 6/19～ Lesson 10 強調構文の使い方 6/26～		
	7月 期末考査		
	7/10～ PART2		
	8月		7/18～ Lesson 11 I can talk about Life-changing Events. 8/25～ Lesson 12 I can talk about Human Relationships. 8/28～ Lesson 13 I can talk about Food and Cooking.
9月	9/4～ Lesson 14 I can talk about Fashion and Shopping. 9/11～ Lesson 15 I can talk about Work and Study. 9/19～ 9/25～		
10月	中間考査		
11月	10/10～ Lesson 16 I can talk about Health and Illness 10/16～ Lesson 17 I can talk about Travel Plans. 10/23～ Lesson 18 I can talk about Natural Disasters and the Environment. 10/30～ 11/6～ Lesson 19 I can talk about Language and Culture. 11/13～ Lesson 20 I can talk about History and Tradition. 11/20～ 11/27～		
	12月		12/7～ Lesson 21 I can talk about History and Tradition. 12/11～ Lesson 22 I can talk about Politics, Law and Crime. 12/18～ PART 3
	1月		1/9～ Lesson 23 The Paragraph and Its Topic Sentence 1/15～ Lesson 24 Supporting Sentences (1) 1/22～ Lesson 25 Supporting Sentences (2)
	2月		1/29～ Lesson 26 Supporting Sentences (3) 2/5～ Lesson 27 Supporting Sentences (4) 2/13～ 2/19～ 2/26～
	3月		学年末考査 3/12～ Lesson 28 Writing a Paragraph 3/19～
言語活動の充実のための学習活動	書いた文をペアやグループで添削し合う機会を与える。 定期的にとまとめた文を書かせ、書いた内容を元に会話やインタビューをさせる。 作文のトピックについて、ペアやグループで議論させ、意見を深める。		
評価方法	定期テストに加えて、小テストをこまめに行うことで、各レッスンでターゲットになっている構文や文法事項を正しく理解し、それらを用いて表現することができるかを評価する。また、英語で自己表現する機会として、定期的にとまとめた文を書かせ評価する。普段の取り組み状況、課題に対する取り組みや提出状況、等も評価の対象とする。スピーキングテストも実施する。		

外国語 実践コミュニケーション(Practical Communication) 2年普通科英語コース (1単位)

目 標		地域社会、外国の諸問題、芸術・文化、価値観など幅広い話題について情報を収集・整理し、英語を用いたより高度なコミュニケーション能力および意欲・態度を身に付ける。ディベート、ディスカッション、スピーチ、プレゼンテーションの技術を身につける。
使用図書		自作教材
副 教 材		
時 期		
4月	4/10～ 4/17～ 4/24～	時事問題についての英語ディベートの技術を習得する 論 題：“Japan should significantly relax its immigration policies.”
5月	5/1～ 5/8～ 中間考査	問題の理解、調査を中心とした、論題理解のためのディスカッション、スピーチ案のフィードバック
6月	5/22～ 5/29～ 6/5～ 6/12～ 6/19～ 6/26～ 期末考査	論題についてのミニディベート、サマリーの仕方 立論の作成と、チームディベート スピーチの英文の書き方(Paragraph Writing)
7月	7/10～ 7/18～	スピーチ原稿の作成 スピーチ原稿の校正
8月	8/25～ 8/28～	スピーチデリバリーの練習 スピーチコンテスト
9月	9/4～ 9/11～ 9/19～ 9/25～ 中間考査	国際的・社会的問題について、英語でディベートする① トピックについて理解する。 個々に必要な情報を収集する。 メリット・デメリットまとめ、情報交換する。 反駁やディフェンスを考える。ディベートをする。
10月	10/10～ 10/16～ 10/23～ 10/30～	国際的・社会的問題について、英語でディベートする② トピックについて理解する。 個々に必要な情報を収集する。 メリット・デメリットまとめ、情報交換する。
11月	11/6～ 11/13～ 11/20～ 11/27～ 期末考査	反駁やディフェンスを考える。 ディベートをする。
12月	12/7～ 12/11～ 12/18～	Discussion & Presentation 世界規模の問題について学び、話し合う。 見本となるプレゼンテーションを鑑賞し、presentation skillsを学ぶ
1月	1/9～ 1/15～ 1/22～ 1/29～	自分でテーマを設定し、必要な情報を収集する。 学んだ情報を他人にわかりやすくまとめ、英語で発表する練習をする。
2月	2/5～ 2/13～ 2/19～ 2/26～ 学年末考査	プレゼン大会リハーサル①
3月	3/12～ 3/19～	プレゼン大会リハーサル② プレゼンテーション大会
言語活動の充実のための学習活動		様々な論題(社会的な問題、時事的な問題)について、ディベートやディスカッションを行う。 英語で5分間のスピーチを行う。 ペアを組み、興味のあるテーマについて調べ、分析し、まとめ、英語で6分間のプレゼンテーションをする。
評価方法		スピーキングテスト(2回)・定期考査(3回)・授業での活動状況、発表内容・課題の提出 夏季休業中に(8月末)に校内スピーチコンテストを行う。 3月中旬にプレゼンテーション大会を行う。

情報・社会と情報 2年 1単位

目 標		情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。	
使用教科書		「社会と情報」(開隆堂)	
副 教 材		「社会と情報 サブノート」(開隆堂)、「基本操作マスター」(開隆堂)	
時 期		学 習 内 容 評 価 規 準	
4月	4/10～	第2章 情報の活用と表現 1節 情報とメディアの特徴 ①情報の特徴	①情報機器を活用して多様な形態の情報を統合しようとするとともに、伝えたい内容を分かりやすく表現し、効率的に伝達しようとしている。〈関心・意欲・態度〉授業態度、授業の記録(サブノート)
	4/12～		
5月	4/17～	②確かな情報 ③メディア	②デジタル化された情報や情報機器の種類と特性を踏まえて、目的に応じた方法を判断し、情報を適切に表現・伝達しようと考えている。〈思考・判断・表現〉授業の記録(サブノート)
	4/24～		
6月	5/1～	2節 情報のデジタル化 ①デジタルの特徴 ②デジタルによる表現	③情報機器を活用して多様な形態の情報をデジタル化するとともに、それらの情報を統合して分かりやすく表現し、効率的な情報伝達をすることができる。〈技能〉実習
	5/8～		
7月	中間考査	3節 情報の表現と伝達 ①効率的な表現と伝達方法	④情報の効果的な伝達方法や、情報を統合し表現する方法、適切な情報の伝達について理解している。〈知識・理解〉ペーパーテスト
	5/22～		
8月	5/29～	第3章 情報通信ネットワークとコミュニケーション 1節 コミュニケーション手段の発達 ①基本的なコミュニケーション手段の発達 ②通信サービスの形態と特徴	①コミュニケーションや情報通信ネットワークのしくみ、情報通信の効率的な方法に関心を持つ。情報通信ネットワークを活用した、効果的なコミュニケーションを行おうとしている。〈関心・意欲・態度〉授業態度・授業の記録(サブノート)
	6/5～		
9月	6/12～	2節 情報ネットワークのしくみ ①情報通信ネットワーク ②インターネットを支える基本的な技術 ③インターネット上のサービス ④安全に利用する技術	②目的に応じたコミュニケーションを行うために、情報通信ネットワークを活用したコミュニケーションツールの活用方法や情報伝達の特性を考えることができる。また、情報通信の効率向上やセキュリティ確保のための工夫ができる。〈思考・判断・表現〉授業の記録(サブノート)
	6/19～		
10月	6/26～	3節 情報通信ネットワークの活用とコミュニケーション ①適切なコミュニケーションの選択 ②情報の発信時に配慮すべき事項	③情報通信ネットワークの特性を踏まえ、コミュニケーションの目的や状況に応じた効果的なコミュニケーションツールを選択できる。〈技能〉授業の記録(サブノート)
	期末考査		
11月	7/10～	第5章 望ましい情報社会の構築 1節 社会における情報システム ①さまざまな情報システム ②情報システムと社会生活	④コミュニケーション手段の発達と通信サービスの特徴を理解するとともに、情報通信ネットワークのしくみや特性、活用する際の方法やセキュリティを確保するための方法、情報通信の効率的な方法を理解している。〈知識・理解〉ペーパーテスト
	7/18～		
12月	8/25～	2節 情報システムと人間 ①これからの情報システムのあり方 ②情報通信ネットワークを活用した意見の提案と集約	①社会を支えるさまざまな情報システムおよび、情報化が社会に及ぼす影響について関心を持ち、社会に参画する態度を持つ。情報機器や情報通信ネットワークを用いて問題を解決しようとしている。〈関心・意欲・態度〉授業態度・授業の記録(サブノート)
	8/28～		
1月	9/4～	3節 情報社会における問題の解決 ①問題と問題解決 ②問題解決の流れ	②社会で利用されている情報システムや情報化が社会に及ぼす影響について思考を深め、望ましい情報社会のあり方を判断できる。身の回りの問題を解決するために使用する情報機器や情報通信ネットワークを適切に選択できる。〈思考・判断・表現〉授業の記録(サブノート)
	9/11～		
2月	9/19～	③情報通信ネットワークを利用した意見の収集と提案、問題の解決をすることができる。〈技能〉 実習の作品	③情報通信ネットワークを利用した意見の収集と提案、問題の解決をすることができる。〈技能〉 実習の作品
	9/25～		
3月	10/10～	④社会を支えるさまざまな情報システムの種類と特性、人間にとって利用しやすい情報システムの在り方を理解するとともに、情報化が社会に及ぼす影響について理解している。また、問題解決の基本的な流れを理解している。〈知識・理解〉ペーパーテスト	④社会を支えるさまざまな情報システムの種類と特性、人間にとって利用しやすい情報システムの在り方を理解するとともに、情報化が社会に及ぼす影響について理解している。また、問題解決の基本的な流れを理解している。〈知識・理解〉ペーパーテスト
	10/16～		
言語活動の充実のための学習活動		情報手段などを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的なコミュニケーションを行うために必要な基礎的な知識・技能を習得させるために、情報手段等の目的に応じた適切な選択、情報の信憑性や著作権への配慮の必要性・重要性、望ましい情報社会の在り方と情報技術の適切な活用等について、生徒が主体的に考え、討議し、発表し合う等の学習活動を充実する。	
評価方法		ペーパーテスト(定期考査)・実習態度・授業の記録(サブノート)・課題作品・レポート提出等を総合的に判断し評価する。	

目 標		数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。	
使用教科書		高等学校 数学Ⅱ【数研出版】(104 数研 数Ⅱ/310) 高等学校 数学Ⅲ【数研出版】(104 数研 数Ⅲ/309)	
副 教 材		サクシード 数学Ⅱ+B【数研出版】 チャート式 数学Ⅱ+B【数研出版】 サクシード 数学Ⅲ【数研出版】 チャート式 数学Ⅲ【数研出版】	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10~ 4/17~ 4/24~	第3章 図形と方程式 第2節 円 第3節 軌跡と領域	[関]: 関心・意欲・態度 [見]: 数学的な見方や考え方 [技]: 数学的な技能 [知]: 知識・理解 ◎図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知ろうとする。[関] ◎与えられた条件を満たす直線や円の方程式の求め方を理解している。[知] ◎条件を満たす軌跡や領域を式や図で表せる。[技]
5月	5/1~ 5/8~ 中間考査	第4章 三角関数 第1節 三角関数	◎弧度法で表された角の三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。[知] ◎三角関数の周期とグラフの形の関係、定義域に注意して、正しいグラフがかけられる。[見] ◎ $-1 \leq \sin \theta \leq 1$ などに注意して、おき換えによって三角関数を含む関数の最大値・最小値を考察できる。[技] ◎加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。[技][知]
6月	5/22~ 5/29~ 6/5~ 6/12~ 6/19~	第2節 加法定理	◎平均変化率・微分係数の定義を理解し、求めることができる。[知] ◎導関数の定義が理解できている。[知] ◎導関数を利用して、微分係数が求められることを理解している。[技] ◎接線の方程式を求められる。[技] ◎導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかくことができる。[知]
7月	6/26~ 期末考査	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	◎不定積分・定積分の定義や性質を理解し、それを利用する計算方法を理解している。[知] ◎面積 $S(x)$ が関数 $f(x)$ の原始関数であることに興味や関心を持ち、考察しようとする。[関] ◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。[知] ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見るることができる。[見]
8月	7/10~ 7/18~ 8/25~	第2節 導関数の応用	◎複素数平面の定義を理解している。[知] ◎極形式の有用性を理解し、乗法と除法の図形的意味を理解し、活用することができる。[技][知] ◎ド・モアブルの定理を利用して、複素数の n 乗を計算することができる。[知] ◎複素数平面上の図形に現れる角や辺の長さの比が複素数を用いて考察できる。[見][知]
9月	8/28~ 9/4~ 9/11~ 9/19~ 9/25~ 中間考査	第3節 積分法	◎2次曲線を解析幾何学的方法で考察することに意欲的に取り組もうとする。[関] ◎2次曲線の方程式から、概形をかくことができる。[技]
10月	10/10~ 10/16~ 10/23~	〈数学Ⅲ〉 第1章 複素数平面	◎いろいろな曲線を媒介変数表示で表すことができる。[知][技] ◎直交座標と極座標を理解できる。[知][技] ◎直交座標で表された方程式を極方程式で表すことができる。[見][技][知]
11月	10/30~ 11/6~ 11/13~ 11/20~ 11/27~ 期末考査	第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	◎分数関数や無理関数の定義を理解し、グラフをかくことができる。[知] ◎分数不等式や無理不等式をグラフを利用することで、解くことができる。[見][技]
12月	12/7~ 12/11~ 12/18~	第3章 関数	◎逆関数・合成関数を理解し、種々の関数の逆関数や合成関数を求めることができる。[知][技][見]
1月	1/9~ 1/15~ 1/22~ 1/29~		
2月	2/5~ 2/13~ 2/19~ 2/26~		
3月	学年末考査 3/12~ 3/19~		
言語活動の充実のための学習活動		日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 発表を中心として、言語活動を充実させる。	
評価方法		各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

目 標		数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。	
使用教科書		高等学校 数学B【数研出版】(104 数研 数B/310)	
副教材		サクシード 数学Ⅱ+B【数研出版】 チャート式 数学Ⅱ+B【数研出版】	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10～	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	[関]:関心・意欲・態度 [見]:数学的な見方や考え方 [技]:数学的な技能 [知]:知識・理解 ◎ベクトルの基本的な概念や加法、減法、実数倍の計算の仕組みを理解している。
	4/17～		
5月	4/24～	第2節 ベクトルと平面図形	[知] ◎ベクトルの内積のもつ図形的な意味を探ろうとする。[関] ◎ベクトルの内積を求めることができ、実数であることを理解している。[知][技] [見]
	5/1～		
6月	5/8～	第2章 空間のベクトル	◎図形上の頂点に関する位置ベクトルを定めて図形を考察できる。[技] ◎位置ベクトルを使って図形を考察できる。[見] ◎直線や円のベクトル方程式を理解している。[知]
	5/22～		
7月	5/29～	第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列	◎空間における図形を図や座標を利用して示すことができる。[技] ◎空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張としてとらえることができる。[見] ◎成分表示されたベクトルについて内積を計算できる。[知] ◎内積を利用して、空間図形の性質を証明できる。[知]
	6/5～		
8月	6/12～	第2節 いろいろな数列	◎数列の定義、表記、用語、記号について理解し、適切に用いることができる。[知] [技] ◎数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。[見][関] ◎等差数列の一般項とその和を求めることができる。[技][知] ◎等比数列の一般項とその和を求めることができる。[技][知]
	6/19～		
9月	6/26～	第3節 数学的帰納法	◎記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められる。[技][知] ◎数列の和を記号Σで表して、和の計算を簡単に行うことができる。[見] ◎数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。[見] ◎群数列に興味をもち、考察しようとする。[関]
	7/10～		
10月	7/18～	〈数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの問題演習〉	◎初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。[見] ◎おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。[関] ◎おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。[技] ◎初項と漸化式から数列の一般項が求められる。[知] ◎数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。[関]
	8/25～		
11月	9/4～	〈数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの問題演習〉	◎初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。[見] ◎おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。[関] ◎おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。[技] ◎初項と漸化式から数列の一般項が求められる。[知] ◎数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。[関]
	9/11～		
12月	9/19～	〈数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの問題演習〉	◎初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。[見] ◎おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。[関] ◎おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。[技] ◎初項と漸化式から数列の一般項が求められる。[知] ◎数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。[関]
	9/25～		
1月	10/10～	〈数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの問題演習〉	◎初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。[見] ◎おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。[関] ◎おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。[技] ◎初項と漸化式から数列の一般項が求められる。[知] ◎数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。[関]
	10/16～		
2月	10/23～	〈数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの問題演習〉	◎初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。[見] ◎おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。[関] ◎おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。[技] ◎初項と漸化式から数列の一般項が求められる。[知] ◎数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。[関]
	10/30～		
3月	11/6～	〈数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの問題演習〉	◎初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。[見] ◎おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。[関] ◎おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。[技] ◎初項と漸化式から数列の一般項が求められる。[知] ◎数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。[関]
	11/13～		
言語活動の充実のための学習活動		日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。発表を中心として、言語活動を充実させる。	
評価方法		各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

理科 理数物理 2年 理数科 4単位

目 標		運動とエネルギー、波、電気に関する基本的な見方や考え方にに基づき、観察・実験などを通して原理・法則を系統的に理解する。また、さまざまな現象に応用して考察できるようにする。	
使用教科書		数研出版 総合物理1, 数研出版 総合物理2	
副 教 材		数研出版 改訂版 リードα 物理基礎・物理, 数研出版 改訂版 フォトサイエンス物理図録	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10~	運動の表し方 ・速度、加速度 ・落体の運動、平面内の運動	○等速直線運動についてv-t, x-tグラフがもつ性質を理解し、加速度の求め方を習得している。[思・知] ○自由落下・水平投射等の放物運動を鉛直、水平方向に分解して考え、特徴を把握することができる。[思・知] ○力の合成・分解ができる。[知]
	4/17~		
5月	4/24~	運動の法則 ・力とそのはたらき	○力がつりあう条件を理解し、つりあいの式を書くことができる。[思・技] ○ニュートンの運動の三法則を理解し、運動方程式の適用が確実にできる。[思・知・技] ○静止摩擦力、最大摩擦力、動摩擦力について理解している。空気の抵抗力がはたらく場合の運動について理解している。[関・思] ○圧力・浮力について、具体例をふまえて理解している。[関・思] ○仕事の定義を理解し、エネルギーを求めることができる。[関・技]
	5/1~		
6月	5/8~	仕事と力学的エネルギー ・仕事、運動エネルギー、位置エネルギー	○重力による位置エネルギーと弾性力による位置エネルギーを理解し、保存力による物体の運動では、力学的エネルギーが保存されることや、動摩擦力や空気の抵抗がはたらくときは力学的エネルギーが保存されないことを考察できる。[思・知・技] ○波を表す基本的な量について理解している。また、観察・実験を通して、現象を説明できる。[思・知] ○音は媒質中を伝わること、高さや強さについて理解している。[関] ○観察・実験を通して、弦の振動・気柱の共鳴などを理解している。[思・知]
	5/22~		
7月	5/29~	波の性質 ・波と媒質の運動 ・波の伝わり方	○波源と観測者が相対的に運動するとき、観測者が聞く振動数の変化について理解している。[思・知] ○運動量と力積の関係について理解している。[知] ○運動量保存則について説明できる。[思・知]
	6/5~		
8月	6/12~	音 ・音の性質 ・発音体の振動と共振・共鳴	○力のモーメントについて理解し、力のモーメントのつりあいの式を立てることができる。[知・技]
	6/19~		
9月	6/26~	音のドップラー効果 運動量の保存 ・運動量と力積 ・運動量保存則、反発係数	○熱、比熱、熱容量、内部エネルギーについて理解している。[知] ○熱と仕事の関係を理解し、エネルギーは相互に変換してもその総量は保存されることを理解している。[思・知] ○ボイル・シャルルの法則、状態方程式を立てることができる。[知・思] ○内部エネルギーを気体分子の運動から理解している。[思] ○定積・等圧・等温・断熱変化におけるエネルギーを捉え、各変化を説明できる。[思・知] ○速度・角速度・回転数・周期の間に一定の関係があること、向心力が必要なことを理解している。[思・知] ○慣性力を理解し、慣性系、非慣性系それぞれの立場で運動を記述することができる。[思・知・技]
	7/10~		
10月	7/18~	剛体にはたらく力のつり合い	○単振動を理解し、周期や振幅など波動との関連性があることについても理解できている。[思・知]
	8/25~		
11月	8/28~	熱と気体 ・熱と物質、仕事 ・気体の法則 ・気体分子の運動	○熱と仕事の関係を理解し、エネルギーは相互に変換してもその総量は保存されることを理解している。[思・知] ○ボイル・シャルルの法則、状態方程式を立てることができる。[知・思] ○内部エネルギーを気体分子の運動から理解している。[思] ○定積・等圧・等温・断熱変化におけるエネルギーを捉え、各変化を説明できる。[思・知] ○速度・角速度・回転数・周期の間に一定の関係があること、向心力が必要なことを理解している。[思・知] ○慣性力を理解し、慣性系、非慣性系それぞれの立場で運動を記述することができる。[思・知・技]
	9/4~		
12月	9/11~	円運動と万有引力 ・等速円運動 ・慣性力	○単振動を理解し、周期や振幅など波動との関連性があることについても理解できている。[思・知]
	9/19~		
1月	9/25~	単振動	○単振動を理解し、周期や振幅など波動との関連性があることについても理解できている。[思・知]
	10/10~		
2月	10/16~	単振動	○単振動を理解し、周期や振幅など波動との関連性があることについても理解できている。[思・知]
	10/23~		
3月	10/30~	単振動	○単振動を理解し、周期や振幅など波動との関連性があることについても理解できている。[思・知]
	11/6~		
3月	11/13~	単振動	○単振動を理解し、周期や振幅など波動との関連性があることについても理解できている。[思・知]
	11/20~		
言語活動の充実のための学習活動		現象について、自分の考えを発表する。観察・実験の結果を予想したり、結果を分析して考察を自分の考えで表現する。また、表・グラフ・式・モデルなどを用いて、適切に自分の考えを表現する。	
評価方法		授業に対する取り組みや各定期考査・課題テスト・小テストにおける成績、実験レポートの結果・ノート提出を総合して評価する。	

理数 理数化学 2年 理数科 4単位

目 標		物質についての基本的な粒子概念、原理、法則を、身近な物質や実験を通して理解し、生活に関連した科学的自然観や思考力を育成する。	
使用教科書		数研出版 化学基礎、 化学	
副 教 材		第一学習社 セミナー化学基礎+化学 実教出版 サイエンスビュー化学総合資料	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/8~	○ 物質の構成 物質の種類と性質、同素体、原子の構造、同位体 電子配置、元素の周期表	・ 物質の基本粒子である原子の電子配置、価電子および希ガスの電子配置を理解している。 [知識・理解] ・ 物質の分離精製について理解している。 [技能]
	4/11~		
5月	4/18~	○ 物質と化学結合 イオン結合、分子と共有結合、分子の極性 金属結合、結晶の種類	・ イオン式、組成式、構造式等の使い分けができる。 [判断] ・ 原子間の結合、分子間の結合について理解している。 [知識・理解]
	4/25~		
6月	5/2~	○ 物質と化学反応式 原子量、分子量と式量、物質質量 化学反応式、量的関係、溶液の濃度	・ 化学式を使用できるとともに、原子量、分子量、式量と物質質量の知識を身につけている。 [思考・判断・表現] ・ 物質質量の概念を用いて化学変化の量的関係を理解している。 ・ モル濃度の特徴と定義を理解し、濃度の計算ができる。 [知識・理解]
	5/9~		
	中間考査		
	5/23~		
	5/30~		
7月	6/6~	○ 酸と塩基 酸と塩基、 水素イオン濃度とpH 中和反応と量的関係、 塩の性質 実験「中和滴定」	・ アーノクス・フレステッドの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断]
	6/13~		
	6/20~		
8月	6/27~	○ 酸化還元反応 酸化と還元、酸化数 酸化剤と還元剤の働き 量的関係 金属のイオン化傾向 実験「酸化還元反応」	・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解] ・ イオン化傾向から化学電池の原理を考えさせる。 [関心・意欲・態度]
	期末考査		
9月	7/11~	○ 物質の三態と状態変化 粒子の熱運動と三態変化、蒸気圧 ○ 気体 ボイル・シャルルの法則 気体の状態方程式 混合気体の圧力、実在気体 ○ 溶液 溶解の仕組みと溶解度 希薄溶液の性質 コロイド溶液	・ 現象を粒子の運動の観点から捉え、蒸気圧曲線から物質の状態を読み取ることができる。【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】 【知識・理解】 ・ 気体の状態方程式を用いて計算ができ、分圧の法則を理解している。【思考・判断・表現】【技能】【知識・理解】 ・ 濃度の表し方を理解し、溶解度の計算ができる。 【技能】【知識・理解】 ・ 希薄溶液の性質や、コロイド溶液に関する知識が身に付いている。【関心・意欲・態度】【知識・理解】
	7/19~		
	8/25~		
	8/29~		
	9/5~		
10月	9/12~	○ 化学反応とエネルギー 反応熱と熱化学方程式 実験「ヘスの法則」 ○ 電池と電気分解 金属のイオン化傾向 電池の原理とダニエル電池 鉛蓄電池 実験「電池」 電気分解・ファラデーの法則	・ 熱化学方程式の意味を理解し、ヘスの法則を用いて新たな化学変化の反応熱を求められる。 [知識・理解] ・ 化学反応に伴う熱の出入りを実験で確認できる。 [技能] ・ 身近に多様な電池があることに気づく。 [関心・意欲・態度] ・ イオン化傾向から化学電池の説明ができる。 [表現] ・ ファラデーの法則を理解し、量的関係を扱うことができる。 [知識・理解]
	9/20~		
11月	9/26~	○ 化学反応の速さとしくみと化学平衡 可逆反応と化学平衡、平衡状態の変化 電解質水溶液の化学平衡化学反応の速さ	・ 反応速度と濃度、温度、触媒の関係を理解している。【知・理】 ・ 化学平衡の概念が身についている。【知識・理解】 ・ 電離平衡を理解し、電離定数や水素イオン濃度、pHを求めることができる。【思考・判断・表現】【技能】
	中間考査		
12月	10/11~		
	10/17~		
1月	10/24~		
	10/31~		
2月	11/7~		
	11/14~		
3月	11/22~		
	11/28~		
3月	期末考査		
	3/13~		
言語活動の充実のための学習活動	3/21~		
評価方法		定期考査・小テストにおける成績、実験レポート・課題提出等を総合して評価する。	

理数 理数生物 2年理数科 2単位(2学期中間以降)

目 標		近年の生物学に関する知識を身につけると共に、科学的・論理的な思考力を養う。また、実験を通して自分で操作すること、提出物をきちんとだすことなどを習慣づける。	
使用教科書		数研出版「生物基礎」 第一学習社「高等学校 生物」	
副 教 材		第一学習社「スクエア最新図説生物 neo」四訂版 第一学習社「2016 セミナー 生物基礎+生物」	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10~		
	4/17~		
5月	4/24~		
	5/1~		
	5/8~		
	中間考査		
6月	5/22~		
	5/29~		
	6/5~		
	6/12~		
	6/19~		
	6/26~		
	期末考査		
7月	7/10~		
	7/18~		
8月	8/25~		
	8/28~		
9月	9/4~		
	9/11~		
10月	9/19~		
	9/25~		
	中間考査		
11月	10/10~	生物基礎 第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境 1. 体液という体内環境 2. 腎臓と肝臓 3. 神経とホルモンによる調節 4. 免疫	○体液の働きや、心臓を中心とした循環系について理解している(関・思・知)
	10/16~		○腎臓や肝臓の働きについて、尿生成のしくみと共に理解している(関・思・技・知)
	10/23~		○ブタの肝臓や心臓、肺を用いた実験でその理解を深める。(関・思・技・知)
	10/30~		○自律神経の働きやホルモンによる調節、特に血糖量調節について知ることで、健康や進化について考える。(関・思・知)
12月	11/6~		○免疫で働く細胞やシステムを理解し、健康に関心を持つ(関・思・知)
	11/13~		○免疫に関わるタンパク質について理解する(生物)。(関・思・知)
1月	11/20~		
	11/27~		
	期末考査		
2月	12/7~	生物 第1編 生命現象と物質 第2章 代謝 1. 代謝とエネルギー代謝 2. 同化 3. 窒素同化 4. 異化	○ATPの役割やエネルギーの概念を理解する。(関・思・知)
	12/11~		○光合成の詳細なしくみを理解している。(関・思・技・知)
	12/18~		○窒素同化についてその詳細な経路を理解している。(関・思・知)
	1/9~		○アルコール発酵などの実験を通し呼吸を理解する。(関・思・技・知)
3月	1/15~		
	1/22~		
	1/29~		
2月	2/5~	第2編 生殖と発生 第4章 有性生殖 1. 減数分裂と受精 2. 遺伝子と染色体	○遺伝子と染色体の関係を理解している。(関・思・知)
	2/13~		○減数分裂を正しく理解し、染色体の乗り換えについて知る。(関・思・知)
3月	2/19~		○染色体の連鎖、組換えと配偶子の種類、組み合わせの関係を理解している。(関・思・知)
	2/26~		
	学年末考査		
	3/12~	2年生物の復習	2年生の生物の分野をしっかりと理解している。(関・思・知)
	3/19~		
言語活動の充実のための学習活動		授業中や実験時に結果を予想したり、結果を分析して考察を自分の考えで表現するために発表をする。また、表・グラフ・式などを用いて、適切に自分の考えを表現する。	
評価方法		各定期考査・課題テスト・小テストにおける成績や取り組み、実験レポートの結果・ノート提出を総合して評価する。	

課題研究 2年・理数科 1単位

目 標		平常の授業で扱えない科学に関する研究課題について、継続的な観察・実験を行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、創造性の基礎を培う。また、研究成果を論文などにまとめ、発表する力を養う。	
使用教科書		なし	
副 教 材		研究班毎に研究に必要な文献	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
4月	4/10～	○オリエンテーション	○課題研究の1年間の流れを知る。(関・思)
	4/17～		
5月	4/24～	○研究活動開始 (テーマの設定・年間研究計画書の作成)	○自ら研究テーマを考え、計画を立てられる。(関・思) 以降は、毎時間その時間に行ったこと(準備、実験結果、調査結果のデータなど)のまとめをファイルに記録し、提出する。
	5/1～		
	5/8～		
	中間考査		
6月	5/22～	○ポスターの作り方について	○研究発表に必要なポスターの作り方が身に付いている。 (思・技)
	5/29～		
7月	6/5～	○中間発表(ポスターセッション形式)	○これまでの研究成果をまとめ、大学教授等の前で発表する。 (発表方法に関する指導を受ける) (関・思・技・知)
	6/12～		
8月	6/19～		
	6/26～		
9月	7/10～		
	7/18～		
10月	8/25～		
	8/28～		
11月	9/4～		
	9/11～		
12月	9/19～		
	9/25～		
1月	10/10～		
	10/16～		
2月	10/23～	○本発表(ポスターセッション形式) ○論文作成	○研究成果をまとめ、発表する。(関・思・技・知) ○論文を作成し、提出する。(関・思・技・知)
	10/30～		
3月	11/6～	彦根東SSHサイエンスフェスティバルの参加 終業式でパワーポイントにより全校生徒の前で発表	○外部や全校生徒に向けて発表する。(関・思・技・知)
	11/13～		
	11/20～		
	11/27～		
	期末考査		
	12/7～		
	12/11～		
	12/18～		
	1/9～		
	1/15～		
	1/22～		
	1/29～		
	2/5～		
	2/13～		
	2/19～		
	2/26～		
	学年末考査		
言語活動の充実のための学習活動		年間研究計画書、毎時間の活動報告ファイル、中間発表、本発表、研究論文	
評価方法		年間研究計画書、毎時間の活動報告ファイル、研究論文及び中間発表・本発表対する取り組み姿勢により評価する。	